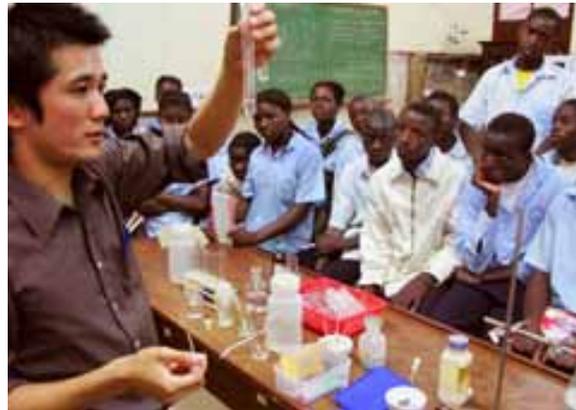


# ミレニアム開発目標の達成に向けた日本の取組み



September 2008

Ministry of Foreign Affairs Japan

(Ver.3)

# トピック

---

1. ミレニアム開発目標(MDGs)の達成状況

2. MDGs達成に向けた日本のリーダーシップ

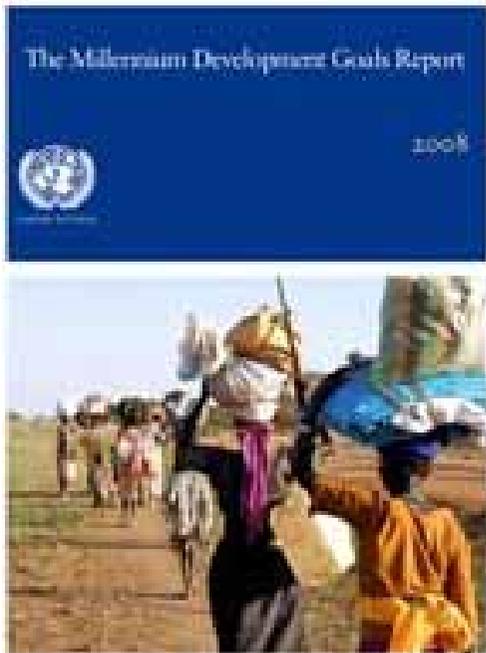
1. TICADIV
2. G8サミット

3. MDGs達成に向けた日本及び国際社会の取組み

1. 保健
2. 教育
3. 水・衛生

4. 食料価格高騰問題への対応

# MDGs達成には更なる努力が必要



2008年度版MDG中間報告

## 目標達成が間近な地域

東アジア

中南米諸国

## 目標達成が困難な地域

サブサハラ地域

南アジア地域

## 進捗が困難なセクター

所得・収入

環境

# MDGs達成に向けた日本のリーダーシップ



7月 北海道洞爺湖サミット開催



5月 第4回アフリカ開発会議(TICAD IV)開催



# 第四回アフリカ開発会議 (TICAD IV) (2008年5月 於:横浜)

元気なアフリカを目指して！

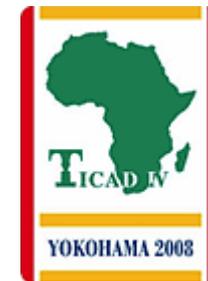
## 1. TICAD IVの成果

- ・ インフラ開発及び民間投資支援
- ・ フォローアップ・メカニズムの設置

## 2. 日本の支援策

- ・ アフリカ向けODAを倍増 (2012年までに)
- ・ 最大40億ドルの円借款 (今後5年間で)

## 3. 官民合同貿易投資ミッションの派遣



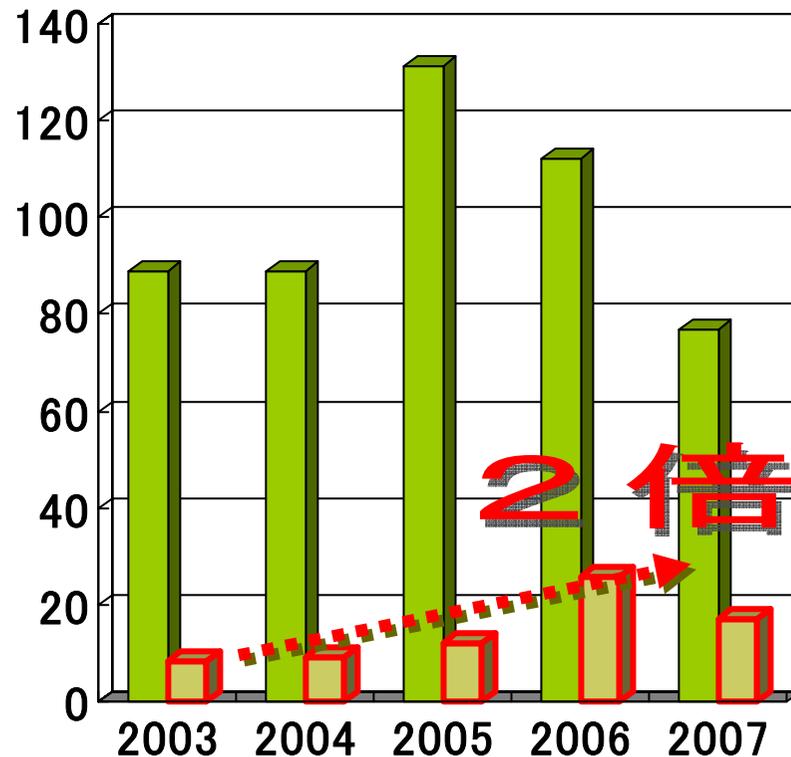
# 北海道洞爺湖サミットの成果



- 2011年以降、対アフリカODAを現在のコミットメント以上に増加させる必要性に言及。
- 特に保健、教育、水・衛生分野に焦点を当て、具体的成果を達成。
- G8として初めてフォローアップ・メカニズムを設置。
- MDGsを達成する上で重要な課題である食料価格の高騰問題への対策に合意。

G8はグレンイーグルズ・サミットの公約に関し、  
一歩たりとも退きません

日本はグレンイーグルズ・サミット公約を達成しつつあります



対アフリカODAの倍増は達成済み。

ODA事業量100億ドル積み増しの  
公約の達成に向け誠実に努力中。

(現在総計53億ドル積み増しを達成。)

ODA Volume  
ODA for Africa

# 北海道洞爺湖サミットにおける成果

- 保健
- 教育
- 水・衛生



# 1-1. 保健 (北海道洞爺湖サミットの成果)



## 新たなコミットメント

- 保健システム強化  
→まずは状況が深刻なアフリカ諸国で、保健従事者の比率を1000人当たり2.3人に引き上げる。
- 母子保健の強化
- 感染症対策の強化  
→マラリア対策として2010年までに1億帳の蚊帳を提供。

## ハイリゲンドラム・サミットのコミットメント履行を明確化

- 感染症、保健システム強化等のための600億米ドルのコミットメントを5年間での履行
- フォローアップ・メカニズムの設置

## 「洞爺湖行動指針」提唱

G8保健専門家による包括的取組み政策提言

## 1-2. 保健（日本の取組み）

「保健と開発に関するイニシアティブ」(2005年)

乳幼児死亡率の削減

妊産婦の健康の改善

HIV／エイズ、マラリア、  
その他疾病の蔓延の阻止

5年間で50億ドル支援  
(2005 - 2009年)

実績

「世界エイズ・結核・  
マラリア対策基金」  
2002年以降の拠出総額累計  
8.5億ドル

今年5月に5.6億ドル拠出表明

## 2-1. 教育

### (北海道洞爺湖サミットの成果)

---

FTI(初等教育の完全普及に向けた国際的な支援枠組み)への支援の継続



他のドナーと共に10億ドルのニーズに対応

次回サミットでFTIを支援するG8の取組の進捗に報告書を提出



## 2-2. 教育（日本の取組み）

### 日本の具体的なイニシアティブ

- 今後5年間で
  - ・アフリカに1000校の学校建設
  - ・アフリカ1万校の学校運営改善
  - ・理数科中心に30万人の教員能力向上（うちアフリカ10万人）

### ファスト・トラック・イニシアティブ (FTI)

- 2007年度に240万ドル新規拠出
- 2008年共同議長国



# 3-1. 水・衛生

## 北海道洞爺湖サミットの成果

### 水問題解決に向けて

①循環型水資源管理

②G8水専門家  
会合を設置

③サハラ以南のアフリカ、アジア・太平洋地域  
に焦点

- 希少な水資源の再利用⇒日本の伝統に基づいた取組み
- 日本が有する水に関する知見、ノウハウ、技術を共有。



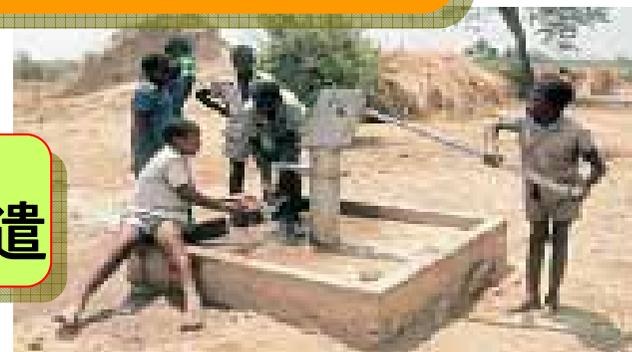
## 3-2. 水・衛生（日本の取組み）

■ 1990年代から同分野における世界のトップドナー  
(2002年から2006年の5年で55億ドル支援)

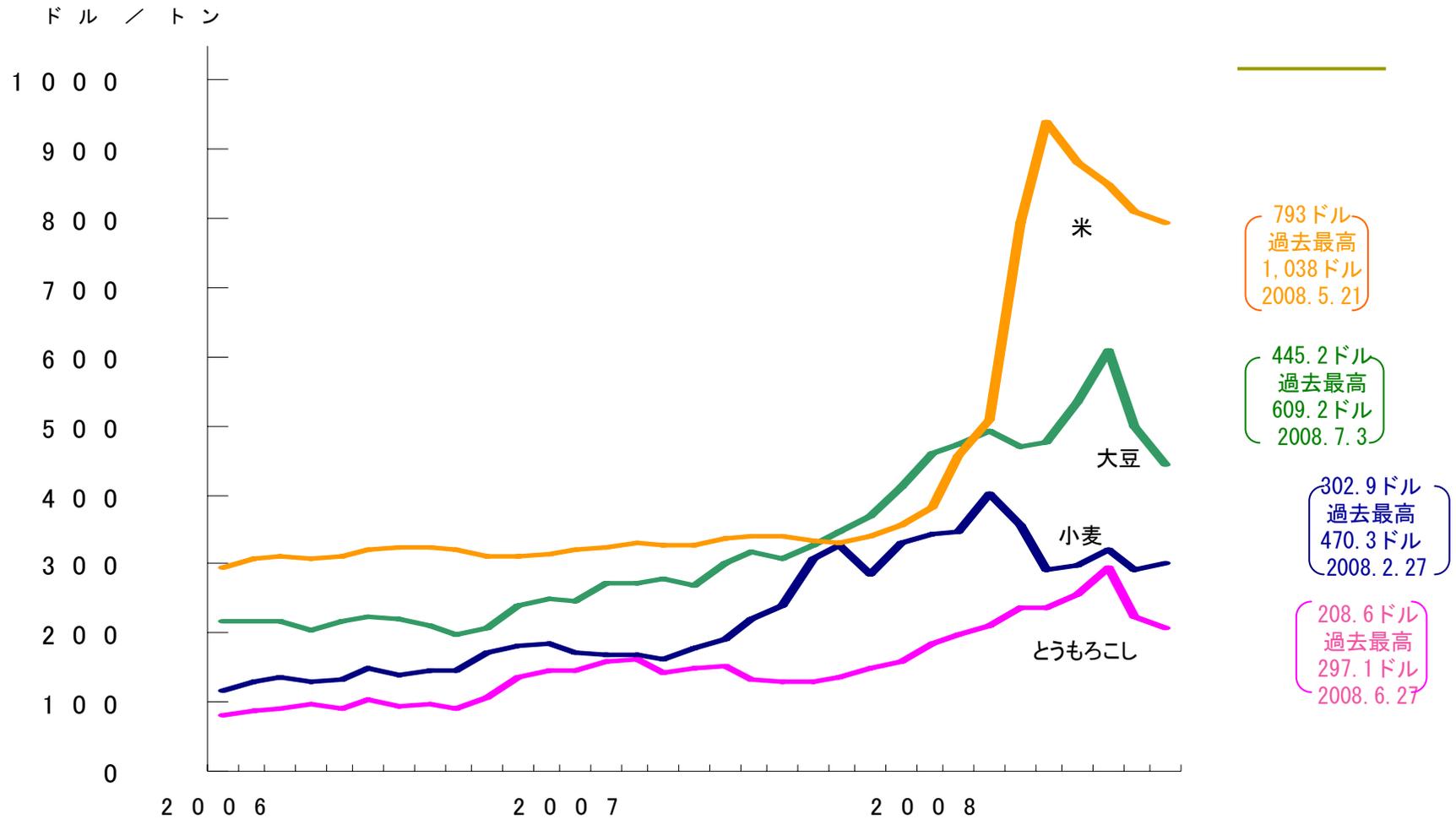
■ 他ドナーとの連携強化(2006年「水と衛生に関する拡大パートナーシップ・イニシアティブ(WASABI)発表)

■ 国際社会の努力をリード  
(2007年12月「2008年国際衛生年に関する国際総会決議を日本主導で採択)

**W-SAT 水の防衛隊をアフリカ諸国に派遣**



# 4-1. 食料価格高騰の現状



グラフ: 農林水産省作成 (平成20年8月15日)

## 4-2. 食料価格高騰問題に対する日本のリーダーシップ

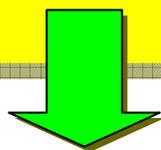
農林水産分野のトップドナーとして  
途上国の食料・農業支援を強化

TICADIV (2008年5月)

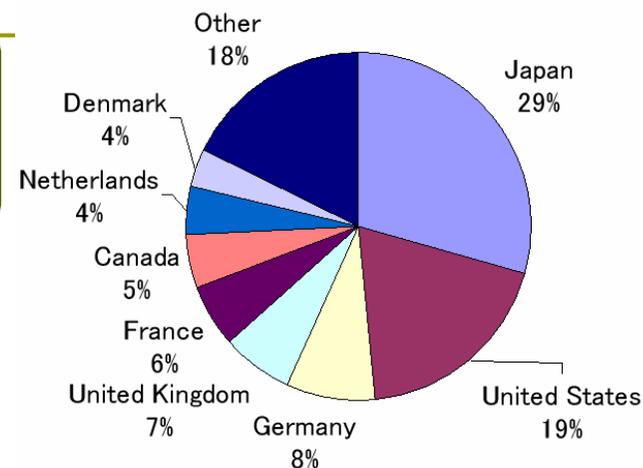
10年間でアフリカ諸国における米の生産を倍増の推進  
■ 灌漑の整備、作物の品種改良、農業関係者の人材育成。

世界の食料安全保障に関するハイレベル会合 (2008年6月)

■ 国際社会の一致団結した対応を推進。  
■ 約1億ドル緊急食糧支援、5000万ドルの貧困農民食糧増産支援、日本が保有する輸入米30万トン以上を放出等。



2008年1月以降7月までに実施・表明した食料・農業分野の支援  
合計約11億ドル(食糧援助約2.5億ドル、農業支援約8.4億ドル)



# 4-3. 食料価格高騰問題 (北海道洞爺湖サミットの成果)

輸出規制の撤廃  
食料備蓄放出の  
呼びかけ



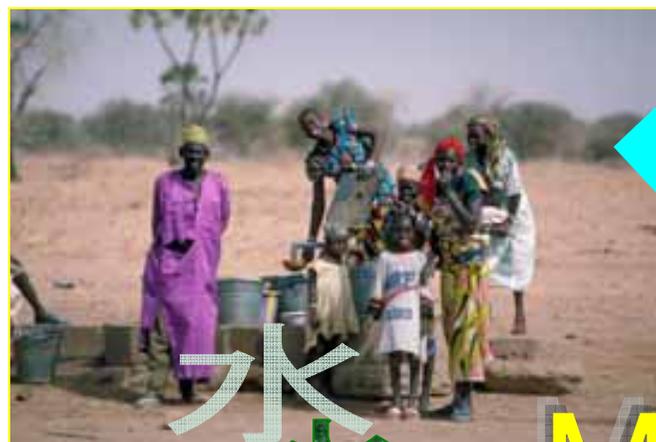
世界的パートナーシップ  
の実現

緊急支援策の継続

途上国の農業生産増強支援  
バイオ燃料と食料安全保障の両立

G8専門家グループの設置  
G8農業大臣会合の開催

# G8議長国としてMDGs達成に向け 取り組みを強化・主導していきます



水



保健  
保健

MDG達成



食料・農業  
食料・農業



教育  
教育